

教育目標

〔基本理念〕

「文武両道」・「質実剛健」の校風の振興を図り、21世紀の担い手としての、知・徳・体の調和のとれた人間の育成を目指す。

創立124年の伝統をしっかりと受け継ぎ、「夢は大きく、志は高く」を合い言葉に、生徒・保護者・地域から信頼され期待される学校として、本県の中核校の一つであり続けるために、生徒が希望する難関大学への進学者を増やす。

また、社会の中核的リーダーとなりうる人間力を身につけた生徒の育成を図るとともに、開かれた特色ある学校作りに努める。

〔育てたい生徒像〕

- (1) ひたむきな生徒
 - ・受け入れる姿勢を忘れず、自ら素直にまじめに学習に取り組める生徒。
 - ・高い目標と広いグローバル的視野を持って、日々努力できる生徒。
- (2) たくましい生徒
 - ・旺盛な探究力、豊かな想像力、世界に通じるコミュニケーション能力、自立的行動力を身につけた生徒。
 - ・自ら課題を見だし取り組む独創的発想力を持ち、自己の責任において取り組む姿勢を身につけた生徒。
- (3) しなやかな生徒
 - ・自他の敬愛と相互協力の理念に徹し、責任を重んじ規律を守り、豊かな心を持つ生徒。
 - ・柔軟な発想を持ち、多様な考えを受け入れ、全体を見渡して尽力できる生徒。

〔具体的方針〕

- (1) 「主体的で対話的な学び」を一層充実させるために、内発的動機付けを引き出す工夫を行うとともに、ICTを活用しながら学校全体で組織的系統的に取り組める体制作りを強化する。(探究的な学習等)
- (2) 地域の拠点校として、生徒、保護者、地域の期待に応えるべく、難関大学合格対策をより充実させる。(生徒、保護者に最後まであきらめさせない指導等)
- (3) 「学校のパワー」を大切に、部活動や学校行事の一層の充実を図る。
- (4) 開かれた学校を目指し、広報活動をさらに充実させる。(小中学生とその保護者向けにも広報強化を図る)
- (5) 「授業第一主義」による教科指導の徹底。
- (6) 真のコミュニケーション能力とは、発信能力と受信能力のバランスであり、他者を尊重することからコミュニケーション能力は育成されることを生徒に理解させ、実践させる。
- (7) 「カリキュラム・マネジメント」の充実を図り、卒業認定、教育課程、入学者の受け入れに関する方針を職員で共有し、「育てたい生徒像」を常に描きながら、教育活動を推進する。

〔2030年を見据えた中・長期的方針〕

- (1) 「主体的・対話的で深い学び」の充実
 - ・学び合い、ICT活用、一人一台Chromebookの活用
- (2) 「カリキュラム・マネジメント」の充実
 - ・育てたい資質・能力の検討・育成
 - ・3つのスクールポリシー作成の検討
 - ① 卒業の認定に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)
 - ② 教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)
 - ③ 入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)
- (3) 「社会に開かれた教育課程」の推進
 - ・学校教育を学校内に閉じず、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させる。
 - ・探究活動 (総合的な探究の時間) の充実
 - ・学校Webページによる情報発信
- (4) 「学習評価の改善」
 - ・観点別学習評価の検討
 - ・指導と評価の一体化
- (5) 「ICTの活用」
 - ・一人一台Chromebookの活用
 - ・情報モラルの推進